

えともえ No.88

行動する
はつらつたる
商工会議所



青函トンネル開通記念博覧会

青函博



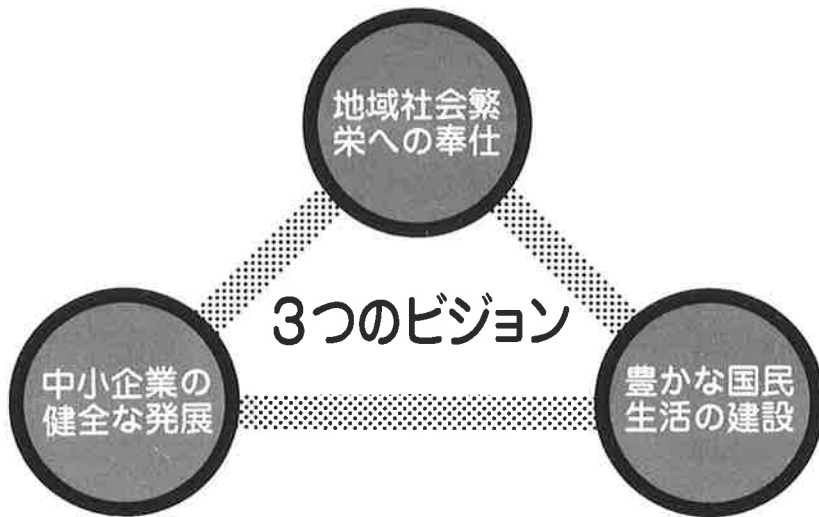
函館EXPO'88

- 会期/昭和63年7月9日⇒9月18日
- 会場/函館市弁天町地区

■ 函館商工会議所報 ■

1988

7月号



はこしんは豊かな暮らしと
確かな未来の実現に
お手伝いいたします。



本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241代

本 店	函館市豊川町15番20号	TEL22-1247代	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL42-3820代
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL23-6221代	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL51-1711代
ばんたい支店	函館市宮前町14番15号	TEL41-6236代	上磯支店	上磯郡上磯町飯生2丁目4番24号	TEL73-2151代
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL52-0511代	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL84-2111代
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL26-3646代	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL65-2501代
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL51-5238代	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL木古内 2-3121代
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL57-1492代	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL知内 5-5611代
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL53-5521代			

視 点	1
会議所の動き	2
本所共済制度のご案内	6
地域の景気	8
調査レポート	10
アドバースコーナー	12
Q & A	14
青函博コーナー	16
ご 案 内	22

青函博 函館EXPO'88 特集

(P 16~P 21)

※今月号は「特別寄稿」「ティータイム」を休ませていただきます。

● 視 点

待ちに待った青函トンネル開通記念博覧会が、本月九日から函館・青森の両会場で開催されました。

思えば昭和二十九年の北洋博以来、三十四年振りの地域の大イベントです。来場者の出足も非常に順調で、中国政府のご好意により展示できたジャイアントパンダも、緑に囲まれた赤川で、涼しい快適な函館の夏を十分に楽しんでおり、子供達のアイドルとなっています。

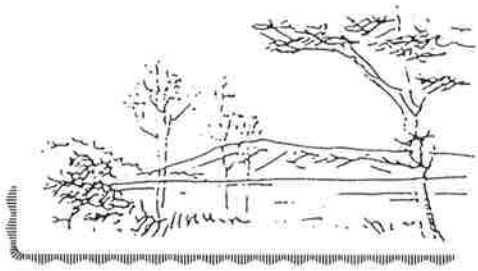
本会場のエキスパレスは四万平方米約一万二千坪もの巨大な建物で、このような巨大な建物を利用した博覧会は、世界でも二度とないだろうといわれており、館内の五十にも及ぶ各パビリオンも伸び伸びとして建てられており、それぞれの持味を活かした展示は非常に好評を得ています。

特にパンダと一緒に開催されている中国物産館では、格安な値段と相まって一部商品には早くも売切れの心配ができていくとのことでした。

この青函博は、函館のもっている色々な特色をよく理解して戴く最大のチャンスでもあり、この博覧会にかけてきた市民の熱意を感じていただくチャンスでもあります。

百五十万の目標入場者数は心配ないと思います。全国六百五十余の市の中で、安政年間より諸外国との交流を通じて積み上げられてきたエキゾチックな街並みが、現地ですっきりと腰をおろしているのは、恐らく函館だけではないでしょうか。この青函博を機会に、わがまち函館を自信をもって大いにセールスしようではありませんか。

會議所の動き



3号議員15人選任
2号議員部会割当数35人も決まる

**第9回
常議員会**

本所第九回常議員会が去る七月十五日本所で開催されました。

この度の常議員会は、本年が本所議員の改選年であることから、三号議員の推せん承認と二号議員の部会別割当数が審議され、いづれも原案どおり議決されました。

当日の第一号議案三号議員の推せん承認については、現三号議員十五人の全員が選任されました。

また、二号議員の部会別割当数については、商業部会十一人、工業部会八人、農水産部会四人、運輸港湾部会三人、理財部会二人、観光サービス部会七人が決定しました。

これにより選挙日程通り各部会を開催、業界毎に二号議員三十五人が選任されますが、部会に所属する会員各位には、左記日程で各部会を開催しますのでご承知下さい。

◎三号議員選任

梶棒二森屋、梶丸井今井函館支

店、北海道瓦斯(株)函館支店、函館製網船具(株)、日本化学飼料(株)、函館どつく(株)函館造船所、北海道日産化学(株)、北海道電力(株)函館支店、日魯漁業(株)本社函館事業所、函館魚市場(株)、日本通運(株)函館支店、(株)ジャックス、(株)北海道銀行函館支店、(株)北海道拓殖銀行函館支店、函館空港ビルディング(株)。

各部会の開催ご案内(二号議員選任)

部会名	開催日	時間	場所	議員割当数
観光サービス部会	昭和六十三年八月八日(月)	午前十一時	函館商工会議所	七人
理財部会	昭和六十三年八月八日(月)	午後二時	〃	二人
運輸港湾部会	昭和六十三年八月九日(火)	午前十一時	〃	三人
商業部会	昭和六十三年八月九日(火)	午後二時	〃	十一人
工業部会	昭和六十三年八月十一日(木)	午後二時	〃	八人
農水産部会	昭和六十三年八月十六日(火)	午後二時	五島軒駅前支店(駅前拓銀ビル7F)	四人

なお、来る九月二十七日には一号議員五十人の選挙が行われますが、被選挙権(立候補)を付与されるのは規定により来る九月十七日までに会員の会費(年額)を納入した事業所が有します。また、選挙権も会員の会費(年額)や特定商工業者負担金が、それぞれ納入された事業所が有しますので、この点ご留意願ひ、出来る限り早い時期に会費及び負担金を納入されるようにお願い申し上げます。

第42回

全国専務理事・事務局長会議

去る七月十二・十三日の両日にわたり、函館ハービービューホテル並びに拓銀ビルを会場に全国商工会議所専務理事、事務局長会議が開催され、全国から三百七十会議所、五百人余りが参加して直剣な討議がなされました。

この会議は、日本商工会議所が主催するもので、現在、開催期間中の青函博に合わせて本所を始め



北海道商工会議所連合会が誘致したもので、昨年5月に長崎で行われた同会議に於て正式な決定がなされ、本所事務局で諸準備がなされてきたものです。

第一日目は、規模別商工会議所専務理事懇談会が行われ、管内人口五万人未満—小規模商工会議所グループ、五万—十万人未満—中規模商工会議所グループ、十万人以上—大規模商工会議所グループ毎に、それぞれ共通のテーマである「商工会議所の部会問題」について討議がなされ、各地先進会議所の専務理事による事例発表など

が行われました。

夜には懇親パーティが行われ、巴太鼓など余興もあり、楽しい交歓の一時を過ごしました。

第二日目には、専務理事、事務局長全体会議が開かれ、通産省産業政策局長の講演を始め、前日の規模別の懇談会の結果について各座長から報告がなされた他、日本鉄道建設公団青函建設局長による「青函トンネル建設」での講演もあり、最後に次期開催地である名古屋商工会議所、白石専務理事の挨拶で会議を終了しましたが、全国規模での商工会議所の会議で、道内では今回が最大規模のものとなり、盛大且つ有意義なうちに幕を閉じました。

第38回

全道商工会議所大会

第三十八回全道商工会議所大会が、去る六月二十九日稚内市で開催され、本所からは川田会頭ほか九人が参加しました。

午前中、四分科会に分かれて三

員)について提案理由を説明、また新たな提案として下郡山副会頭から四全総で示される③青函インターブロック交流圏構想の推進について、今後この構想推進のため、交通・通信ネットワークの整備など五項目のほか、財政面等についての積極的な支援を要望する旨の提案をしました。また金融

税制分科会では、税制改革について現行の税体系の全面的な見直しを行い、何らかの改革を図る必要があるという認識の上に立って、新税(消費税)の導入に関しては先ず国民の合意を得られるよう、不公平税制の改革や中小企業対策等が充分満たされなければ実施について容認しがたい旨、強く確認されました。

午後の本会議では、分科会で討議されました全議案について審議し、満場一致で議決されました。なお、これらの案件については、八月月上旬に関係省庁に陳情することになりました。

また次回開催は、明年七月苫小牧市と決定しました。

◎観光振興対策の推進(山田常議

十数件の議案を討議し、本所からは従来から提案している◎道新幹線の建設促進(加藤副会頭)◎道縦貫自動車道建設促進(泉常議員)

青函博の成功を誓い合う 前夜祭プレ・ナイトセレモニー開催

青函博・函館EXPO'88前夜祭は、去る七月八日、函館ハーバービューホテルに於て、招待客ら総勢九百人が集まって開催されました。

これは、青函博実行委員会が青函博を明日に控え、まつりムードを一気に盛り上げようと企画したもので、会場には函館と姉妹友好都市のカナダ・ハリファックス市



▲前夜祭で、万歳三唱の音頭をとる本所-川田会頭

ロン・ウォレス市長や歌手の北島三郎さん、地元選出の代議士などが出席する中、青函博実行委員長の木戸浦函館市長が「函館市民の力を結集し、この事業を成功させよう」と挨拶し、来場者からの激励をうけました。

次いで、ハリファックス市からのバグパイプ演奏や函館の「巴太鼓」などの披露があり、最後に本所川田会頭の音頭による万歳三唱で式典の幕を閉じました。

一方、青函博のメイン会場お祭り広場では、函館市民で構成する「成功させよう青函博の会」によるプレ・ナイトセレモニーが開催

され、風雨の強い中で、招待客ら千人余りが詰めかけました。

セレモニーでは、レーザー光線とファンファーレによるオープニングに始まり、青函博・函館EXPO'88のマスコット「かんちゃん」

が先導して観客の拍手の中、青函博実行委員会総裁の横路知事、実行委員長の木戸浦市長、副委員長の川田会頭の三氏が壇上へ上がり、横路知事による力強い挨拶や花束の贈呈に続き、道内自転車縦走に挑んでいたNNT社員から、本所川田会頭へ、通過の各市長のメッセージが渡されました。

このあとさまざまなアトラクションが披露され、最後に青函博テーマソング「青い道」を作曲した森田公一さんの指揮で青函博の成功を祈って全員が合唱し、この日のイベントを締め括りました。

二十一世紀への夢をのせて 青函博・函館EXPO'88開幕

七十二日間にわたる地域活性化起爆剤としての大イベント、青函博・函館EXPO'88は、七月九日、ついに開幕の日を迎えました。

開会式当日は、曇り空ながら、

京音楽隊による演奏で参加者一同が「君が代」を斉唱、国旗とともに主催者団体の旗がポールに掲げられました。

そして、開場の午前九時半にはファンファーレとともに、青函博実行委員会総裁・横路北海道知事、同会委員長・木戸浦函館市長、同会副委員長・本所川田会頭ら主催者の他、シンガポールのリー・クアン・ユー首相、ハリファックスのロン・ウォレス市長らによるテープカットで、待ちかねた見学者が一斉にゲートをくぐり、初日としては予想を上回る一万六千人の人数で賑わいました。

また、市内赤川町笹流ダムのパング会場でも開会式が行われ、主催者を代表して木戸浦市長が挨拶に立ち、「日中友好親善大使としてのパンダを函館に迎えることができたことは、非常に意義深いこととであり、市民の力を結集して青函博を成功させ、日中両国のより一層の友好関係をはかっていきたいと述べ、中国大使を始め日中両国の関係者によるテープカットで華やかに幕を開けました。



事務局日誌

6 月

- *常議員会
7(火) 第8回常議員会
- *総会
17(金) 第6回通常議員総会
- *部会・委員会
1(水) 総務委員会
6(月) 運輸港湾部会・地域開発委員会合同会議
- *正副会頭会議
2(木) 第54回正副会頭会議
27(月) 第55回正副会頭会議
- *会議(日商)
23(木) 昭和63年度北海道・東北ブロック「経営安定特別相談室」設置商工会議所担当者会議
- *会議(道商連)
9(木) 会頭、副会頭会議
〃 第98回常議員会
〃 第106回通常会員総会
10(金) 第131回全道商工会議所専務理事・事務局長会議
28(火) 第132回全道商工会議所専務理事・事務局長会議
29(水) 第38回全道商工会議所大会
- *審査会
2(木) 小企業等経営改善資金の審査会
21(火) 〃
- *諸会議
1(水) 昭和63年度中小企業向け融資制度説明会
2(木) 議員会役員会
3(金) 国民金融公庫函館支店と本所指導員との研修会
4(土) 函館市理事者との懇談会
〃 函館空港整備促進連絡協議会総会
5(日) 青函博前夜祭打合せ会議
7(火) 新幹線現函館駅乗り入れ促進期成会役員会・総会
8(水) 中尾経済企画庁長官と経済8団体との懇談会
〃 成功させよう青函博の会宿泊部会
9(木) 日本商工連盟北海道連合会会員懇談会
〃 第11回北海道生命共済振興会総会
〃 箱館五稜郭祭募金委員会
10(金) 北海道開発幹線自動車道建設促進期成会総会
11(土) 日本テレビ年末時代劇スペシャル「五稜郭」打合せ会議
13(月) 青函博中国物産展委員会
〃 連絡船活用問題懇談会
〃 青函博中国物産展訪日団との懇談会
14(火) 青函インターブロック交流圏構想推進協議会第1回幹事会
15(水) 函館販売士協会総会・記念講演会
17(金) 函館情報技術開発センター定時株主総会
〃 道内主要都市商工会議所相談所業務担当部課長会議
21(火) 成功させよう青函博の会イベント部会
〃 警察行政懇談会
23(木) みなみ北海道広域商工振興連絡協議会総会

- 24(金) 本所年金共済制度説明会
- 27(月) 函館市商店街組合連合会と青森市商店街連盟との懇談会
〃 第44回国民体育大会函館市実行委員会第3回輸送整備専門委員会
- 30(木) 国立函館大学誘致促進期成会第15回企画専門部会
- *陳情・要望
21(火) 北海道新幹線建設促進に関する陳情
27(月)~28(火) 函館・大飯間直行航空路線再開に関する陳情
- *講習・催物
2(木) 記帳講習会
2(木)~7(火) 第5回北海道味党まつり
9(木) 記帳講習会
10(金) 「酒販店のための利益向上作戦」セミナー
〃 法律相談
14(火) 経営安定特別セミナー
「決算書から見る経営力・経営安定度のチェックポイント」
15(水) 発明相談
16(木) 記帳講習会
22(火) 経営相談
23(木) 函館経営者協会セミナー
「改正労働基準法のあらましと就業規則の作り方」
〃 記帳講習会
24(金) 法律相談
27(月) 金融説明会
〃 「飲食店のあり方と接客の条件」セミナー
28(火) 白色申告者記帳説明会
30(木) 記帳講習会
- *検定試験
12(日) 第68回簿記検定試験
19(日) 第4回ワープロ検定試験
26(日) 第123回珠算能力検定試験
- *刊行物
20(月) 所報「ともえ」No.87(6月号)発行
- *相談・診断
金融 136 税務 82 経理 24 経営 78
労働 25 取引 0 その他 3 計 348
- *貸室
本館 24 別館 3
- *文書
受信 278 発信 18
- *慶弔・その他
3(金) 世界・食の祭典ジュノスプラザ函館開所式並びにオープニングパーティー
〃 本所会計監査
6(月) 函館繊維製品卸商組合創立40周年記念祝賀会
7(火) 青森県山内副知事本所表敬訪問
10(金) 函館ハーバービューホテル開業記念式典並びに祝宴
11(土) 青函博中国物産展訪日団歓迎会
11(土)~13(月) 青函博開催周知と前券販売のためのキャンペーン
13(月) 北海道新幹線早期実現総決起大会
14(火) 本所常議員辻才次郎氏叙勲受章記念祝賀会
〃 下館商工会議所視察研修会
15(水) 函館商工中金ユース会5周年記念懇親会
16(木) 函館合板機創立10周年記念祝賀会
20(月) 青函博シャトル船進水式並びに祝賀会
22(水) 長野県南佐久郡白田町商工会会員本所表敬訪問
23(木) 衆議院常任委員会調査室研修委員会合同調査に伴なう本所訪問
〃 函館警察官友の会優良職員表彰式

● 型枠解体工事 ● フェンス設置工事

松浦土建工業所

代表 松浦徳蔵

事務所 函館市西旭岡町3丁目13-1 ☎50-2711
大森町営業所 函館市大森町32-13 ☎22-0611

ア. 函館商工会議所のスケールメリットを最大に活かした有利な給付内容で配当金は、100%加入者に還元されます。

イ. 若年層や退職間近な人を含めて全ての方にとって魅力ある内容で、脱退のときは積立金が一時金で受け取れます。

ウ. 一般の生命保険料控除に加え、個人年金保険料控除の対象となります。

エ. 年金額は、配当金による増加年金で毎年増加し、インフレヘッジ機能が期待できます。

3. 年金共済の制度概要

ア. 加入資格

函館商工会議所の会員とその役職員で

健康で正常に就業している満58歳未満の方。但し、制度発足時に限り満58歳以上満60歳未満の方も加入できます。

イ. 掛金の範囲

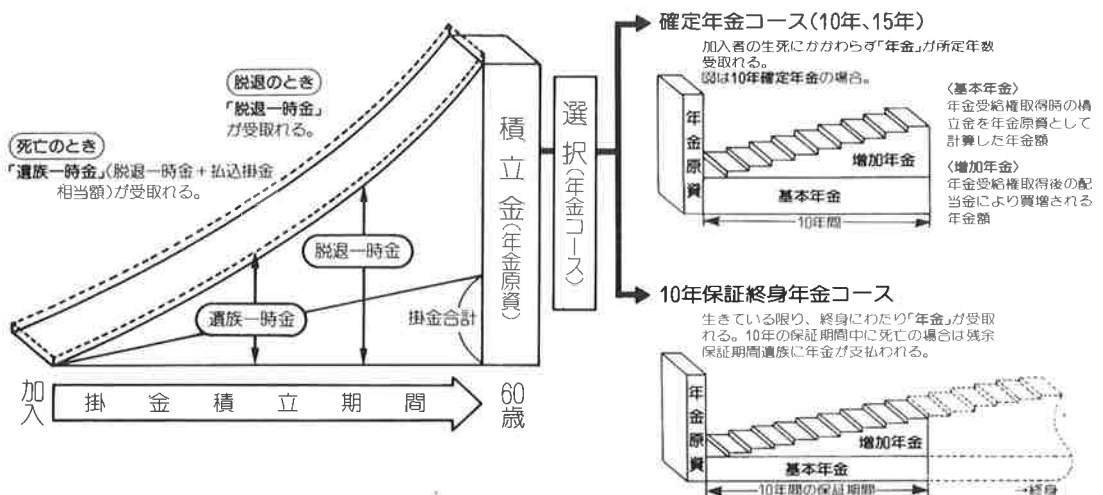
月払 1口 2,000円 3口～99口
 半年払 1口10,000円 1口～99口
 一時払 1口100,000円 1口～99口

※一時払による積み立ては、月払または半年払に加入している必要があります。

ウ. 追加加入・増口

追加加入・増口は年2回取り扱いますが、今回の加入を逃すと半年先の加入となりますので、この機会に是非ご加入下さい。

函館商工会議所年金共済のしくみ



応した新しい経済社会システムの確立が必要となっています。

函館商工会議所

年金共済発足に当って

Ⅰ. 年金共済を取り巻く環境と制度の概要

本格的な高齢化社会の進行のなかで、老後の生活を保障するため、何らかの対策の必要性がますます高まりつつあります。

本所ではこうした現況に鑑み、来年2月1日付にて会員事業所の事業主および役職員を対象とした自助努力型の年金共済制度を創設することになりました。

つきましては、今月と来月の2回にわたって年金共済を取り巻く環境、制度の特徴、概要についてご説明いたします。

1. 年金共済を取り巻く環境

ア. 超高齢化社会の到来

わが国人口の高齢化は、平均寿命の伸長及び、出生率の低下により戦後急速に進んできました。昭和20年代半ばには、総人口に占める割合が5%であった65歳以上の高齢人口は、60年に行われた国勢調査では初めて10%を超え、昭和95年には23.5%と4人に1人が65歳以上となり世界で最も高齢化された社会になるものと予想されております。

こうした人口の高齢化は、社会経済に大きな影響を及ぼしており、様々な問題に対応するためには、人生80年時代に相

イ. 公的年金の改正

わが国の年金制度は、現在65歳以上の人を勤労者6.7人で支えているのに対し、高齢化の進むピーク時には2.5人で支えることとなります。このような背景から、

61年4月に厚生年金等の各年金法が一斉に改正されました。この改正は、国民に共通する基礎年金の導入と給付水準の抑制を柱にしたものと言われております。

ウ. 企業年金の現状

高度成長から安定・低成長への移行と従業員構成の高齢化に伴い、企業は生産性の向上とともに減量経営を余儀なくされ、賃金・退職金・福利厚生等のコストは相対的な低下を強いられてきています。

エ. 将来の老後生活安定への対応

平均寿命の伸長、生産の多様化、高学歴化、女性の労働参加等により、国民ライフサイクルは大きく変化しています。

こうした中において、公的年金および企業年金が老後の所得保障の中核的役割を果たしているのは確かですが、それだけでは十分とは言えず自助努力で補う必要があります。

自助努力は、社会が健全であるための不可決の条件であり、努力した企業や個人がそれなりに報われないと社会の活力が減退してしまうことが懸念されます。

2. 年金共済の特徴

映じて順調。また、乳加工品では、原料乳の手当増を図って、需給タイトの粉乳の増産に注力している。

(3) その他製造業

段ボールは、青果物・加工食品向けを中心に出荷は堅調。漁網も、イカ刺網、イワシ旋網等の受注が比較的順調で、生産は回復傾向にある。また、合板では、安値インドネシア製品の急増に押されて市況が軟化しているものの、家電向け高級品を中心に生産・出荷とも順調。

(4) 建設関連

個人住宅建築はこのところ頭打ちながら、製造業の工場増築工事が増加しているほか、公共工事の発注も本格化（主要5官庁の5月中発注額前年比+25.6%）してきているため、土木・建築筋の手持ち工事量は、引き続き高水準で、セメント、生コン等関連資材の荷動きも堅調に推移。

(5) 農業

水稻、豆類等大半の農作物は、日照不足が響き生育が幾分遅れている模様。

(6) 漁業

6月解禁の近海マイカ漁は、出足は低調であったものの、中旬以降は魚群の来遊から徐々に回復。また、噴火湾毛ガニ漁の水揚量はほぼ前年並みながら、水揚額は需要増を映じて前年を大きく上回っている。

(7) 消費関連

5月中の市内大型小売店(10か店)の売り上げは、一部百貨店の催事盛況もあって、身回り品(アクセサリ等)、雑貨類(陶漆器

等)が好売れ行きを示したため、全体では前年比4.3%の増加。6月入り後も夏物衣料品を中心に比較的順調な動きを示している模様。一方、耐久消費財では、家電販売は、VTR、ステレオ等AV商品を中心に売り上げは引き続き好調。また、自動車販売もボーナスセール奏効等から大幅な伸び(5月中管内新車販売台数前年比+20.6%〈前月+13.7%〉)。この間、観光面では、青函トンネルブームを映じて観光客の入り込みが引き続き活発で、ホテル、土産物店等観光関連筋の売り上げも好調を持続。

3. 金融事情(5月中)

○実質預金は、法人預金の堅調持続や税収好調等を映じた公金預金の伸長から、月中91億円の増加(前年は月末休日に伴う高止まりから月中133億円増)。一方、貸出は、建設、小売等の増加運転資金、設備資金が増加したものの、地公体向け貸出の回収が多額に上ったため、月中61億円の減少(前年18億円減)。

この間、管内銀行の貸出約定平均金利は、低利な地公体向け貸出の返済進捗から月中+0.014%と2か月連続の上昇(前月+0.018%)。

○銀行券は、前月末増発の月末決済資金や観光・行楽資金等の順調な還流から、前年(還収超53億円)を大幅に上回る月中75億円の還収超。

○財政収支は、租税、保険の受け入れが嵩んだものの、地公体向け資金運用部貸付が多額に上ったため、月中117億円の大幅払超(前年同109億円)。

5 月

昭和63年 6 月29日

地域の

景況

日本銀行函館支店

1. 概 況

○最近の管内経済動向をみると、個人消費、設備投資等を中心とした需要の盛り上がりを受けて、企業の売り上げ、生産は増勢を持続しており、企業収益も大方の先が増益基調にあることから、経営者の景況感も一段と好転するなど、管内景気は好調裡に推移している。

○すなわち、製造業では一部の先が低操業を余儀なくされているものの、旺盛な需要を背景に、電子部品が一段の能力増強投資を企図しているほか、製缶・合板機械、水産加工、乳加工品等多くの先でも時間外勤務の増加等により、増産姿勢を強めている。また、非製造業では、個人住宅は伸び悩んでいるものの、製造業の工場増築工事の増加、公共工事の発注本格化から、土木・建築筋は引き続き活況を呈しているほか、百貨店売り上げ、自動車・家電販売も好調を持続しており、観光関連でも観光客の入込み増を映じて活況裡に推移。

この間、雇用情勢をみると、卸・小売、サービス等の求人増を主因に前月低下した新規求人倍率は再び上昇。

こうした状況下、5月に実施した管内企業短期経済観測調査結果をみると、売り上げ、生産は前回調査（2月）比ともに上方修正され、収益も大方の先が増益基調にある。このため、企業の業況判断をみても前回調査に比べ良好感をさらに強めており、63年度の設備投資計画も製造業、非製造業とも前年度を上回る見通し。

○金融面をみると、預金は公金預金の増加を主因に順調であったほか、貸出も、地公体向けは返済が進捗したものの、企業向けは増加運転・設備資金を中心に漸増傾向。この間、管内銀行の貸出約定平均金利は前月に引き続き上昇。

2. 主要業種別動向

(1) 機 械

電子部品では、OA機器の好売れ行き等を背景に受注が増加の一途を辿っており、このため、設備投資を増額して一段の能力増強を企図。また、製缶・合板機械でも、受注好調から時間外勤務や外注を増やして増産を強化。一方、造船ではアルミ漁船等小型船の受注が引き続き順調。

2. 食 料 品

水産加工では、ソフトさきいか等は夏場行楽需要に期待して高目の備蓄生産を行っているが、スルメは遠洋イカの豊漁を契機に、製品価格が大幅に値崩れし、採算割れを余儀なくされているため、生産は減少している。飼料・魚油では、主力飼料は安値輸入玉の流入増等から荷動きが鈍化気味の反面、魚油輸出は国際商品市況の上伸等を

● 図 3

交通機関別入込数等

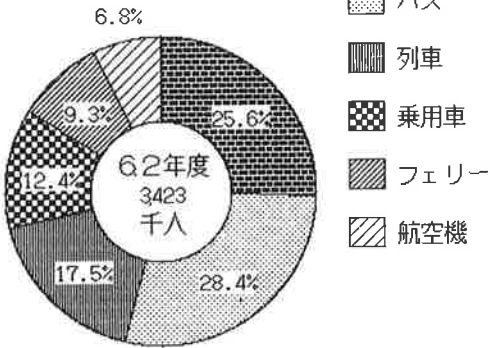
(単位：千人、%)

	交通機関別入込数・利用率					
	連絡船	列車	バス	フェリー	乗用車	航空機
昭和58年度	707 28.8	681 27.7	370 15.1	273 11.1	245 10.0	179 7.3
昭和59年度	665 25.6	652 25.1	521 20.0	267 10.3	295 11.4	197 7.6
昭和60年度	657 24.1	633 23.2	651 23.8	268 9.8	321 11.8	200 7.3
昭和61年度	643 21.5	612 20.5	856 28.6	296 9.9	370 12.4	213 7.1
昭和62年度	877 25.6	598 17.5	973 28.4	317 9.3	425 12.4	233 6.8

※ 上段：入込数、下段：利用率

● 図 4

交通機関別利用率



● 図 5

函館市観光客入込数

(単位：千人、%)

	観光客入込数			前年度 対 比	宿泊・日帰り別	
	道 外	道 内	計		宿 泊	日 帰 り
昭和56年度	1,287	1,234	2,521	94.5	1,372	1,149
昭和57年度	1,274	1,257	2,531	100.4	1,380	1,151
昭和58年度	1,206	1,249	2,455	97.0	1,332	1,123
昭和59年度	1,179	1,418	2,597	105.8	1,410	1,187
昭和60年度	1,594	1,135	2,729	105.1	1,487	1,242
昭和61年度	1,759	1,231	2,990	109.6	1,628	1,362
昭和62年度	2,134	1,289	3,423	114.5	1,851	1,753
62年 4月	77	71	148	115.5	55	93
5月	285	216	500	103.6	300	200
6月	295	161	456	103.3	273	182
7月	291	172	463	107.1	278	185
8月	468	230	698	120.2	419	279
9月	244	174	419	120.2	205	214
10月	169	100	269	120.8	121	148
11月	80	43	123	121.9	46	78
12月	33	22	55	110.0	20	35
63年 1月	38	23	61	113.0	25	36
2月	59	29	87	142.4	39	48
3月	96	48	144	164.0	69	75

統 計 資 料

第一種函館市内大規模小売店舗売上高 (10店)

昭和63年 5月

品 名	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣 料 品	2,854,408	89.8	102.1
身 回 品	534,953	92.2	106.3
雑 貨	648,297	91.3	105.8
家 庭 用 品	641,472	76.7	106.5
食 料 品	1,595,416	99.6	101.0
食 堂 ・ 喫 茶	183,702	102.0	104.7
サ ー ビ ス	97,951	93.8	155.3
そ の 他	467,027	94.4	116.3
総 計	7,023,226	91.4	104.3

※10店とは棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ハイショップホリタ、テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ホリタショップパズブラザ湯の川店の各店をいう。

経済の窓

昭和62年度

観光客入込数

函館市では例年当市を訪れる観光客の入込み状況について調査・推計しておりますが、昭和62年度の概要についてお知らせいたします。

観光客入込数の概要

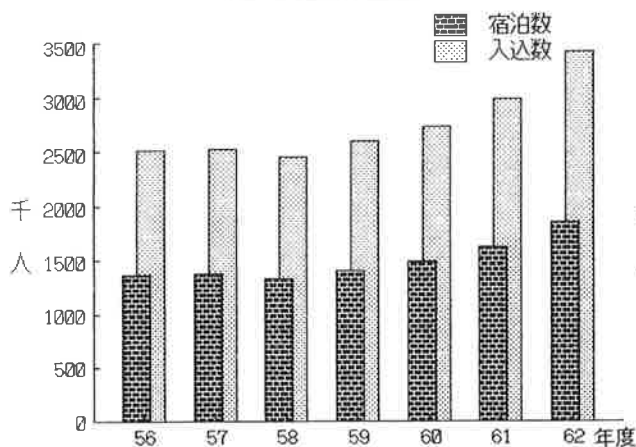
昭和62年度の来函観光客数は、342万3千人で、前年度(299万人)に対して43万3千人、14.5%の大幅増となりました。増加の要因とし

ては、①連絡船ブームと青函トンネル開通の影響 ②道内での全国高校総体開催の影響 ③観光客誘致対策の強化、観光資源整備の充実、各種宣伝効果の浸透などが考えられます。

入込数を月別にみると、8月69万8千人で全体の20.4%を占め、次いで5月の50万人(同14.6%)、7月の46万3千人(同13.5%)、6月の45万6千人(同13.3%)と夏に61.8%集中していますが、昨年に比べ冬場(1月～3月)の入込増(29万2千人、前年度対比43.8%増)が目立ちました。また利用交通機関別では、バス利用が最も多く、次いで連絡船、列車の順となっており、特に連絡船フィーバーの影響から、その利用者数、利用率共に前年度を大きく上回っています。

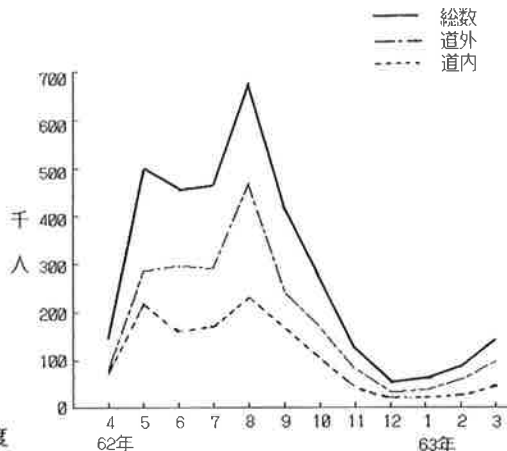
● 図1

函館市観光客入込数の推移



● 図2

月別入込数



事業主の
ための **健康管理入門**



社団法人産業労働研究所理事
桐木 逸朗



第七 章

温泉を健康づくりに役立てよう

温泉天国ニッポンに住む経営者たちは、温泉を病氣やけがなどの治療や健康の保持、増進、体力の回復などのために上手に活用するという「生活のチエ」は、あまり持ち合わせていない方が多いようです。温泉をレジャーの場として活用されるのも結構ですが、も

う少し健康増進という視点から温泉を活用するチエを働かせるようにしたいものです。

温泉地へ出かけるのは、確かにストレス解消に役立ちますし、きれいな空気が明るい日ざしのなかで心身を充分に休養させ、明日の活力を生み出すという効果もあります。温泉の泉質を十分に吟味して温浴や飲用に利用しますと、運動不足、肥満、神経疲労、各種成人病の治療や予防に大変役立つことができるのです。

温泉はその中に含まれている化学成分によってからだにきくものとかえってからだを悪くするものとがありますし、入湯もあまり過度になりますと、かえって健康に悪い影響を与えてしまいます。

また温泉は浴用、飲用、ガス吸入などいろいろな活用法がありますが、すぐに効果がでるわけではありませんので、最低1週間から3週間、年に2〜3回くりかえし利用するのが理想的とされています。経営者にとって1週間〜3週間仕事を休むということは大変むずかしいことかもしれませんが、

「温泉ドック」で心身のストレスを解消し、健康に自信を持つことができれば、長い目でみた場合十分にそのロスはとりもどすことができる筈です。豪華な温泉ホテルを利用するのでなく、国民保養温泉地のひなびた温泉宿で静かにすごしてみるのもよい思い出につながるようになるでしょう。

温泉を健康の保持・増進のために利用する場合の留意点を簡単に説明しておきましょう。

- (1) 入湯の時刻 食前・食後は避け、就寝直前は40℃以下の微温泉に入浴すればよく眠れます。
- (2) 1回の入浴時間 42℃から43℃ぐらいの温泉に3〜5分は入り、出してから少し休んでまたはいるといった間欠入浴法がもっとも効果的でしょう。しかしぬるい湯ならもっと長く入っていてもかまいません。
- (3) 入湯の回数 1日2回〜3回までが限度とされています。温泉についた第1日目は1回とし、少しづつならして回数を増やすといった用心も必要ですし、1回の時間も過度に長くならないよう注意してください。
- (4) かぶり湯 入浴前に頭に何回も湯をかけて頭の血管を拡張させ、目まいや脳貧血がおこるのを防ぐようにしてください。これを「かぶり湯」といいます。

大衆温泉浴場

日乃出湯

湯川植物園向い TEL 57-8692